第１号議案　令和４年度事業報告承認について

令和４年度　事　業　報　告

Ⅰ．事業の概要

新型コロナウイルスのパンデミックにより、全世界の経済活動は大きな停滞を余儀なくされた。インバウンドによる経済の興隆を期した我が国は水際対策で観光・商業等で大きな打撃を受けた。加えてロシアのウクライナ侵攻に伴う世界経済への影響は著しく、燃料資源不足、物価高騰の状況は、先が見通せない不安を抱かせる状態である。

これらは、当センターの受託事業実績にも影響が大きく、コロナ蔓延防止のため会員の就業機会を奪う結果となった。しかし、最近はコロナの沈静化が見られ、経済活動も徐々に回復基調にあると言われていることから、今後の就業の復調も期待できそうである。一方、センターの会員減少の流れは止まることなく、新入会員数の伸び悩み、高年齢退会会員の増加により実数増加は思うに任せない状況である。若い働き手不足の社会状況から雇用延長が進み、退職年齢が延びて入会者の平均年齢が70歳代になったこと。年金受給年齢までの生活を考慮して、シルバー人材センターの働き方では十分な収入が見込めないことも理由として挙げられる。従来の「生きがい」の視点よりも「生活支援」の期待が大きいと思われる。加えて、これまで行ってきたイベント会場での宣伝活動や一斉奉仕作業の中止もあり、一般へのＰＲ機会が失われ、僅かに会員勧誘のポスター作成と役員によるポスティング活動を行ったものの会員増強には繋がらなかった。シルバー人材センターの事業としては、会員の就業機会の確保により新規入会会員と未就業会員の就業希望を充足することが会員拡大の決め手になるのではないか。今後は、自治体と連携して会員の拡大と高年齢者の多様なニーズに応じた就業機会の確保に一層努めなければならないと思われる。

Ⅱ．事業実施状況

⑴会員確保・増強について

①会員増強運動として、会員の「口コミによる入会促進運動」を継続して行った。

②毎月２回第２・第４水曜日に開催する入会説明会を、より多くの人たちが説明会に参加できるよう、説明会開始の時間を参加しやすい時間に設定し、会員増強に努めた。

③ハローワーク大館において、雇用保険審査日に合わせて金曜日の午後、月２回定期的に「シルバー相談窓口」を開設し、会員増強に努めた。

④「入会説明会」「相談窓口」の開設を「新聞広告」や「ホームページ」等でＰＲした。

⑤会員確保、退会抑制のために、会員サークル活動を奨励した。

⑵就業機会確保・拡大と仕事の提供

①請負委任の受託事業の推進・拡大

・市役所及び郵便局でのモニターによる案内や新聞広告を活用し、対応可能な職種のＰＲを行った。

・仕事拡大運動として、会員による「一件一万円の仕事開拓運動」を継続して行った。

・お墓の管理や空き家管理を大館市「ふるさと納税」の返礼品として、仕事の拡大に努めた。

②会員に対する仕事の提供

・役職員との情報交換を行い、就業機会の公平性確保に努めた。また、就業機会の公平性確保のため「臨時・短期」の遵守に向けた、ローテーション就業を推進した。

③地域就業機会創出・事業拡大の継続

・高年齢世帯を対象にした「ワンコインサービス」をはじめ、遠方で暮らす家族に代わり、耕作放棄地・空き家の管理を行い、シルバー会員でも代行できることを周知した。

・高年齢者の通院同行や見守りを、家族に代わりシルバー会員が対応して、就業機会拡大に努めた。

④シルバー派遣事業及び有料職業紹介事業の推進・拡大

・適正就業の観点から、請負・委任の受託事業に馴染まない仕事は「シルバー派遣事業」「有料職業紹介事業」で取り扱い、発注者の要望に応えて、かつ会員の就業機会拡大に努めた。

⑶普及啓発活動の推進とボランティア活動の実施

①普及啓発活動

・新型コロナウイルス感染防止のため、地域行事を活用した街頭宣伝活動ができなかった。

・定期運行バスに広告を掲示し、また、市役所及び郵便局でモニターによる案内広告で周知を行った。

・会報「おおだて」第83・84号を２回発行し、現状や活動を紹介した。

②ボランティア活動の実施

・毎年恒例の「一斉奉仕作業」は、作業会場が新型コロナウイルス感染防止のため閉鎖され、中止せざるを得なかった。

⑷安全就業及び適正就業の推進

①安全就業の推進

・安全就業適正委員会による「安全巡回」を、計５ヶ所実施した。

・安全だよりを発行し、安全就業を呼びかけた。

・熱中症予防や感染症予防のチラシを作成し、会報と同時に配布し、注意喚起を行った。

・職群班会議を開催し、安全就業の徹底を呼び掛けた。

・全国シルバー人材センターで一斉に行われる「安全就業強化月間」に合わせて、７月１日に安全就業適正委員会・各職群班・一般会員を集めて「安全就業強化月間激励会」を開催し、安全就業を呼びかけた。

・シルバー派遣事業の労災事故防止に向けて「衛生委員会」を計画したものの開催できなかった。

②適正就業の推進

・連合会の指導の下、契約内容を点検・確認し、適正就業に努め、請負に馴染まない契約については派遣契約に転換した。

⑸高年齢者の就業促進セミナー及び知識や技能習得のための講習・講座の開催

・新型コロナウイルス感染防止のため、就業促進セミナーや技能講習が実施できなかった。庭木剪定、刈払いの講習への受講参加を呼びかけた。

⑹組織体制の充実と財政基盤の強化

・正副班長会議や職群班会議等を通じて、理念の浸透と参画意識醸成を行った。

・地域班会議は、開催を呼びかけたが各地域班の体制が不十分で一部しか開催できなかった。班長や副班長の欠員の班には班長・副班長の選出を促した。併せて役員選考委員の改選年であることからその選出も依頼した。

・役職員資質の向上のため、秋田県シルバー人材センター連合会が主催する研修会参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため、研修が１回しか実施されなかった。

・大館市に「全国シルバー人材センター事業協会」総会で決議された補助金確保を要請した。

(7)関係行政機関・他団体との連携

・大館市雇用対策協定運営協議会、大館・北秋田地域雇用対策連絡会議、大館市支え合い推進会議の構成員として、情報交換等により地域社会の課題解決に向けて取り組んだ。また、これらの協議体に参画して、シルバー人材センターの印象度向上を図った。

Ⅲ. 事業目標及び前年度との比較報告

・令和４年度の目標値と前年度実績値との比較（上段：受託事業、下段：派遣事業）

項　目	目標値との比較増減(－)	令和4年度目標値	**令和4年度実績**	前年度実績	前年度との比較増減(－)
会　員　数	－112人	619人	**507人**	554人	－47人
受託事業受注額	－22,575千円	238,650千円	**216,075千円**	226,787千円	－10,712千円
受託事業就業延日数	－4,995人日	43,000人日	**38,005人日**	39,812人日	－1,807人日
就　業　率	－4.1%	75.5%	**71.4%**	73.5%	－2.1%
派遣事業受注額	－24,706千円	63,000千円	**38,294千円**	53,270千円	－14,976千円
派遣事業就業延日数	－4,072人日	9,600人日	**5,528人日**	7,435人日	－1,907人日

(1)請負受託事業の推移（直近の５年間）

項　目	会員数(人)	増↑減↓	就業延人数(人日)	増↑減↓	受託契約高(千円)	増↑減↓
平成30年度	591	↑	42,247	↓	218,539	↓
令和元年度	611	↑	41,096	↓	229,817	↑
令和２年度	584	↓	40,201	↓	235,339	↑
令和３年度	554	↓	39,812	↓	226,787	↓
令和４年度	507	↓	38,005	↓	216,075	↓

(2)シルバー派遣事業の推移（直近の５年間）

項　目	派遣就業の登録会員数	増↑減↓	就業延人数(人日)	増↑減↓	派遣契約高(千円)	増↑減↓
平成30年度	210	↑	8,612	↑	54,079	↑
令和元年度	230	↑	9,158	↑	60,352	↑
令和２年度	217	↓	8,024	↓	54,079	↓
令和３年度	198	↓	7,435	↓	53,270	↓
令和４年度	205	↑	5,528	↓	38,294	↓

Ⅳ. 具体的報告

1．会員の状況

(1)月別入会・退会状況と会員数

令和４年４月１日～令和５年３月31日

項目 / 月別	新規入会者数			退会者数			差引在籍会員数		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	合計
前年度	34(3)	14(3)	48(3)	63(3)	15(3)	78(3)	403(3)	151(3)	554(3)
４月	7	2	9	45	26	71	365	127	492
５月	2	1	3	0	1	1	367	127	494
６月	3	1	4	3	0	3	367	128	495
７月	0	3	3	2	1	3	365	130	495
８月	1	0	1	2	0	2	364	130	494
９月	3	1	4	0	0	0	367	131	498
10月	2	0	2	4	0	4	365	131	496
11月	5	1	6	2	0	2	368	132	500
12月	1	0	1	3	1	4	366	131	497
１月	3	0	3	5	0	5	364	131	495
２月	1	0	1	0	0	0	365	131	496
３月	9	2	11	0	0	0	374	133	507
累計	37	11	48	66	29	95	374	133	507

[地区別会員数]

- 大館地区　３９４人　（男２８５人、女１０９人）　77.7%
- 田代地区　４９人　（男３８人、女１１人）　9.7%
- 比内地区　６４人　（男５１人、女１３人）　12.6%

(2)会員の年齢分布

（単位：人、歳）

項目	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	平均年齢	最高年齢
男性	0	7	64	146	113	44	374	74.2	91
女性	0	3	23	38	39	30	133	75.5	92
計	0	10	87	184	152	74	507	74.5	92
比率	0.0%	2.0%	17.1%	36.3%	30.0%	14.6%	100.0%	－	－

(3)入会動機別会員数

（単位：人）

項 目	生きがい社会参加	仲間作り	時間的余裕	健康維持増進	経済的理由	その他	合 計
男 性	77	18	96	89	85	9	374
女 性	32	4	32	37	26	2	133
計	109	22	128	126	111	11	507

(4)職歴別会員数

（単位：人）

項 目	会 社 員 等				公 務 員				自営	無職	合計
	事務系	技術系	その他	小 計	事務系	技術系	その他	小 計			
男 性	46	217	55	318	23	12	2	37	19	0	374
女 性	20	69	26	115	4	4	0	8	8	2	133
計	66	286	81	433	27	16	2	45	27	2	507
構成比	85.4%				8.9%				5.3%	0.4%	100.0%

(5)会員の希望職群（第一希望）

（単位：人）

項 目	技術群	技能群	事務整理群	管理群	折衝外交群	一般作業群	サービス群	その他	合 計
男 性	28	43	7	124	1	167	3	1	374
女 性	3	1	6	2	1	96	24	0	133
計	31	44	13	126	2	263	27	1	507

(6)退会した会員の退会理由

（単位：人）

項 目	病気	加齢	死亡	就職	家庭の事 情	希望する仕事なし	就業機会なし	会費未納	その他	合計
男 性	17	18	6	6	1	6	1	0	11	66
女 性	8	7	1	2	5	0	3	0	3	29
計	25	25	7	8	6	6	4	0	14	95

2．受託事業（請負委任）の実績報告

(1)仕事の分類別、公共・民間別の受注状況

（上段→仕事の分類別、下段→公共・企業・家庭別）　　令和５年３月31日現在

区分＼項目		受注件数（件）	就業延日人員（人日）	契約金額（円） 配分金	材料費等	事務費	合計
仕事の分類別実績	管理的業務	0	0	0	0	0	0
	専門的・技術的業務	1	2	13,200	2,400	2,640	18,240
	事務的業務	106	492	2,123,174	3,100	221,079	2,347,353
	販売の業務	0	0	0	0	0	0
	サービス業務	150	11,787	64,967,058	107,214	7,884,625	72,958,897
	保安の業務	0	0	0	0	0	0
	農林漁業の業務	390	3,144	19,540,300	5,274,046	3,968,581	28,782,927
	生産工程の業務	54	213	574,650	249,356	67,699	891,705
	輸送・機械運転の業務	1	206	1,433,064	0	161,291	1,594,355
	建設・採掘の業務	71	139	743,195	556,018	119,890	1,419,103
	運搬・清掃・包装等の業務	1,114	22,022	84,271,932	10,021,470	13,769,217	108,062,619
	上段計	1,887	38,005	173,666,573	16,213,604	26,195,022	216,075,199
公共・民間別実績	下段計	1,887	38,005	173,666,573	16,213,604	26,195,022	216,075,199
	公共	155	15,988	65,250,753	6,501,327	11,830,960	83,583,040
	企業等	362	16,647	86,550,535	3,680,032	11,090,464	101,321,031
	個人・家庭	1,368	5,366	21,853,885	6,029,945	3,272,028	31,155,858
	独自事業	2	4	11,400	2,300	1,570	15,270

(2)履行期間別受注件数

10日未満	10日以上1ヶ月未満	1ヶ月以上3ヶ月未満	3ヶ月以上6ヶ月未満	6ヶ月以上	合計
1,516件	176件	25件	20件	150件	1,887件
80.3%	9.3%	1.3%	1.1%	8.0%	100.0%

3．労働者派遣事業の実績報告

令和５年３月31日現在

派遣登録会員数(人)			契約件数(件)			受注金額（円）			就業実人員(人)	就業延日人員(人日)
男	女	計	公共	民間	計	公共	民間	計		
144	61	205	4	31	35	1,826,770	36,467,888	38,294,658	75	5,528

4．事故報告

(1)傷害事故

第１号　男性　80才　※シルバー派遣事業　就業中

事故日時　令和４年12月２日　午後２時00頃

発生状況　派遣先の製材所で桟積・桟バラシ機の上で完成した桟積材をＰＰバンドで結束している時、他の作業者がコンベアを作動させたため桟積材とローラーの間に右手中指先端を挟まれた。

傷害状況　指挫滅創（骨異常なし）　　２ヶ月で治癒済み

(2)賠償事故

第１号　男性　72才　※請負受託事業　就業中

事故日時　令和４年８月22日　午前８時30分頃

発生状況　工場敷地内の草刈り作業中、電柱そばのヤードカメラ（防犯上のもの）の配線を草刈り機で切断してしまった。

損害額　616,000円　示談済

第２号　男性　70才　※請負受託事業　就業中

事故日時　令和４年８月22日　午前９時30分頃

発生状況　工場敷地内の草刈り作業中、敷地内を通水している黒いホースを草刈り機で切断してしまった。

損害額　14,300円　示談済

第３号　男性　77才　※請負受託事業　就業中

事故日時　令和４年８月26日　午後２時00分頃

発生状況　公園敷地内の草刈り作業中、誤って水栓バルブの蓋に刃先を接触させてしまい、蓋を破損した。

損害額　10,340円　示談済

5．ワークプラザ棟利用状況

部屋別	利用回数	利用目的
作業室	256	庭木班、清掃班準備後始末、機材整備他
研修室	175	会員昼食会、職群班会議、入会説明会、サークル活動、会員打合せ他
講習室	151	襖・障子・網戸張り、市・県広報仕分、講習、チラシ等仕分け他
会議室	99	理事会・監査会、諸会議、検査・指導、就業説明、手芸サークル他
合計	681	

6．主催した主な会議

①定 時 総 会　（会場：大館市立中央公民館）
総会員492人中、293人出席。（実数22人、委任状155人、書面表決116人）
議案：令和４年度事業・収支決算承認、補欠役員選任

②理　事　会　　７回
第１回：監事報告、令和３年度事業報告・決算報告、定時総会上程議案
臨　時：人事案件、今後の事業実施
第２回：職務執行状況議案協議
第３回：職員退職、派遣対応、理事会支援体制
第４回：入退会状況報告、職員人事、給与規程の変更
第５回：事務所環境整備、会員拡大ポスティング、常務理事人事、正副班長等会議
第６回：会員入退会状況、一般行動報告、経営状況、上半期収支報告、地域班正副班長会議等
第７回：令和５年度定時総会　事業計画、資金調達、収支予算

③監　査　会　　２回　令和４年度事業・会計監査

④理事選考委員会　１回　※総会における補欠役員選出に向けた協議

⑤安全・適正就業委員会　１回　※令和４年度の安全計画策定、他
※就業現場の抜打ち巡回指導５回実施　（７月８日～12月21日までの期間）

⑥衛生委員会　　１回開催

⑦総 務 部 会　　１回（県シルバー人材センター連合会からの調査報告書作成）

⑧事 業 部 会　　１回（役員選出、活動計画）

⑨広 報 部 会　　４回（会報「おおだて」83号、84号発行）

⑩地域班正副班長会議　１回（会員入会促進、安全就業、地域班会議の企画、適正就業）

⑪地域班会議（安全・適正就業、会員勧誘）出席会員に資料配布　※新型コロナウイルス感染防止のため一部の班で実施

⑫職群班会議（安全対策、マナー向上、受注目標、仲間意識の醸成、会員勧誘要請、他）
※庭木班２回、除草班１回開催

⑬事務局会議　　３回（事業計画・予算、総会対応、会員確保）

7．実施した主な行事

①安全就業強化月間「安全激励会」
※令和４年７月１日、センター駐車場にて安全委員と仕事に向かう前の職群班員・一般会員らで、事故防止への取り組みを誓いあった。

8．他団体との連携

①「大館市高齢者活躍支援協議会」との連携
・高年齢者の就職促進のため、各種セミナーの開催やマッチング事業を展開。
・構成：大館商工会議所、大館北秋商工会、ＪＡあきた北、秋田銀行、ハローワーク大館、大館市シルバー人材センター

②「大館市雇用対策協定運営協議会」との連携
・若年層と地元企業のマッチング支援、女性の活躍に向けた就労整備、生涯現役社会に向けた高年齢者の就労支援、福祉関係支援対象者の就労支援を図るためのマッチング

事業等を行う。

・運営の主体は大館市と秋田労働局。

・構成：ハローワーク大館、大館市産業部商工課、移住交流課、大館市福祉部福祉課、子ども課、大館北秋雇用開発協会、秋田県ふるさと定住機構あきた就職活動支援センター、秋田職業能力開発短期大学校、秋田看護福祉大学、大館市シルバー人材センター

③「大館・北秋地域雇用対策連絡会議」との連携

・慢性的な労働力不足を背景に、地域の関係機関の緊密な連携により機動的かつ効果的な対策の推進を図るため、大館公共職業安定所が中心となって設置された協議体。

・構成：北秋田地域振興局、大館市、北秋田市、上小阿仁村、大館商工会議所、北秋田市商工会、大館北秋商工会、上小阿仁村商工会、産業雇用安定センター、中小企業団体中央会、大館市シルバー人材センター、北秋田地域シルバー人材センター、ハローワーク大館・鷹巣

④大館市支え合い推進会議との連携

・大館市社会福祉協議会が核となって運営される協議体。大館市における高年齢者の生活支援体制の整備に向けた助け合いの推進、介護予防、高年齢者の居場所作り等に取り組むもの。定期的な会議の開催及び先進事例の紹介・視察等を実施。

・構成：各地域包括支援センターはじめ、町内会長、民生児童委員、福祉員、商工団体、警察機関、消防団、福祉関係行政機関、地縁組織、老人クラブ、ボランティア団体、シルバー人材センター

9．他団体が主催した会議・研修等の出席

注・全シ協＝公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協会

・東北シ協＝東北シルバー人材センター連絡協議会

・連合会＝公益社団法人 秋田県シルバー人材センター連合会

①全シ協主催「新任会長研修」（東京）

②　〃　「新任事務局長研修」（東京）、職員研修会（山形市）

③連合会主催「連合会定時総会」（秋田市）

④　〃　「県北地区安全衛生研修」（北秋田市）

⑤　〃　「労働者派遣事業研修」（オンライン）

⑥　〃　「職業紹介責任者講習」（オンライン）

⑦　〃　「理事長（会長）合同会議研修」（秋田市）

⑧　〃　「会長等役員・事務局長合同研修会」（オンライン）

⑨　〃　「会員拡大・就業に関する担当者会議」（オンライン）

⑩　〃　「適正就業担当者会議」（オンライン）

⑪　〃　「安全・適正就業会議」（オンライン）

⑫　〃　「安全就業指導員会議」（オンライン）

⑬ハローワーク主催「大館・北秋地域雇用対策連絡会議」５回　会場：大館市又は北秋田市

⑭社会福祉協議会「大館市支え合い推進会議」３回（上川沿公民館）

⑮大館市高齢者活躍支援協議会「高齢者活用促進セミナー」

⑯大館市雇用対策協定運営協議会

⑰大館市福祉まるごと支援ネットワーク代表者会議

10. 秋田県シルバー人材センター連合会主催の講習等（大館市で実施した講習）

(1)高齢者活躍人材確保育成事業

草刈り等　各種講習会を実施

11. 検査･指導、要請活動

①顧問税理士による検査・指導（４回）

②福原淳嗣市長と面談（10月31日）※全シ協総会決議文の手交とシルバー支援の要請

③大館市商工課へ事務局長着任要請と事業支援の依頼（２回）

12. 義務的講習等

①安全運転管理者講習（大館市）

13. マスコミ取材報道

①当センター令和4年度「定時総会」の新聞報道

②当センター庭木班の樹木雪囲作業新聞報道　　等々

14. 表彰

令和４年度「安全就業優良センター」優良賞で表彰されました。

於：７月27日パーティギャラリーイヤタカ